

## 今回は2ページ をご紹介します！！

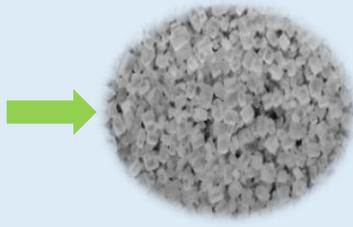
1ページ目は江口社長から教えていただいた8/1付 日刊工業新聞記事です！

### 自動車関連会社の環境負荷を低減する取り組み

1 トヨタ自動車では、リサイクル事業者や内部部品メーカーと連携し、ペットボトルを粉碎・糸状にし、スポーツ多目的車のシート表皮にする仕組みを構築しました。



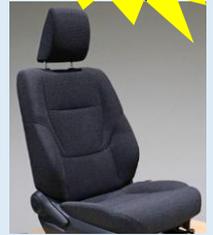
オフィスなどで飲み終わったペットボトルを回収する。



粉碎しペレット状にする



熱(約280°C)で溶解し液体にする。そして糸状に押し出し冷却する。



糸を編み上げ、ランドクルーザー250のシート表皮に使われる。

従来製品比約10%のCO2削減！！

2 高級ブランド車「レクサス」のシートレザー端材や、エアバック・シートベルトの端材を使用し、ペンケースやアウトドア向けバックなどに再構成される。



ハンドル・シートのレザー端材



エアバック



シートベルト



カット・縫製など



新しい製品へ！

豊田合成はブランド「Re-S(リーズ)」を立ち上げ、自動車部品の端材を活用し商品化しています。

8/20～は大丸東京店9階の複合体験ストア「明日見世」に出店されるそうです。ぜひ！！

## ゴミ清掃工場へ行ってきました

会社、家庭で捨てたゴミがその後どのように処理されているのか、工場見学に参加し現場を見てきました。



名称：墨田清掃工場

場所：墨田区東墨田一丁目10-23 平井駅から徒歩20分

建物：「音楽」をテーマに建てられた工場で、屋根は川の流れるメロディーを、高さ150mの煙突は縦笛をイメージしてデザインされました。

プラットホーム

運ばれてきたごみは計量後収集車でそのままプラットホームへ行き、ごみをごみバンカへ投入します。

ごみバンカ



ごみを焼却するまで溜めておきます。大きなクレーンでかき混ぜ均一化し、焼却炉へ投入します。

焼却炉

ゴミを800℃以上の高温で焼却します。高温で焼却することでダイオキシン類発生を抑制します。24時間稼働。

ボイラ



ゴミを焼却した際に発生する熱で蒸気を発生させ、熱供給や発電に利用します。

ろ過式集塵器

排ガス中の煤塵、ダイオキシン類、水銀、塩化水素、硫黄硫化物を除去します。

洗煙設備・触媒反応塔

排ガス中に含まれるダイオキシン類、窒素酸化物を触媒の働きで分解します。

煙突



有害物質やにおいを取り除いた排ガスを大気に放出します。煙突から出る排ガスは200℃程度です。



毎日450台の清掃車がある



1日700tのゴミが来る



大きさは9,820㎡！



4tのゴミをにつかむ

清掃工場ではごみを燃やすほかに、ごみを燃やす際に発生する熱(蒸気)を利用し、電気や温水を作り墨田区の施設や温水プールに使っているそうです。

現場に行き、学ぶ事ができ楽しかったです。



	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	2,414.3 kwh/月	2,193.9 kwh	110.0%	達成	節水、製品・サービス未達成
節水	水道使用量削減	8.927 m³/月	9.779 m³	91.3%	未達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	16.00 Kg/月	10.28 Kg	155.6%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	80 %/月	100.0 %	125.0%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	2 件	66.7%	未達成	